

経営比較分析表（令和6年度決算）

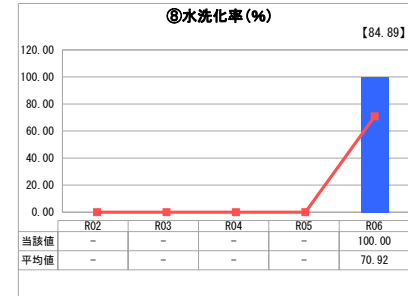
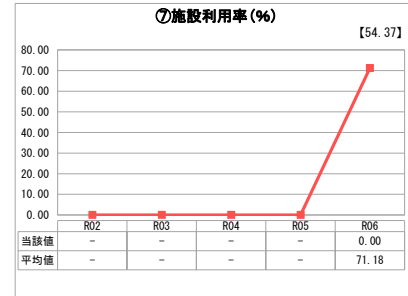
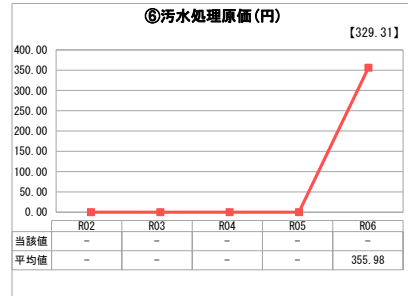
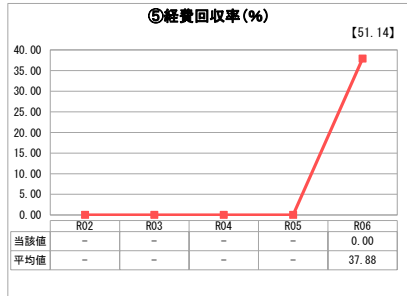
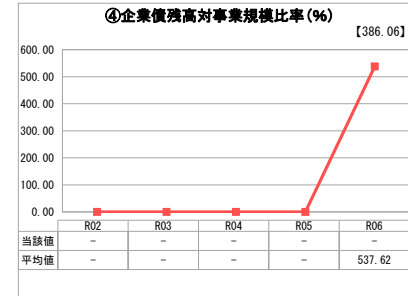
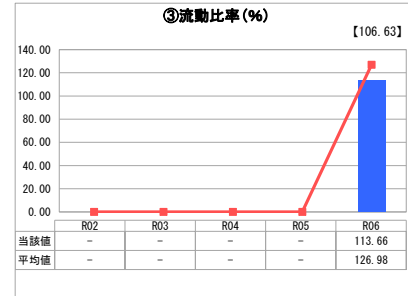
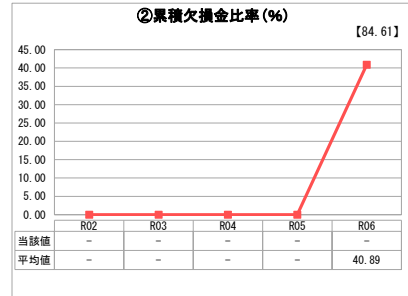
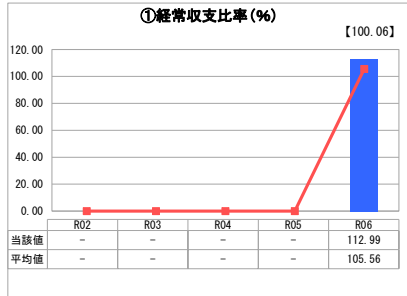
千葉県 芝山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	13.10	0.06	-	3,850

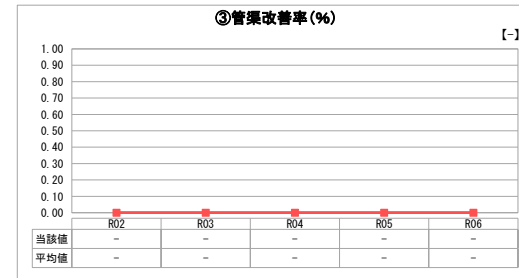
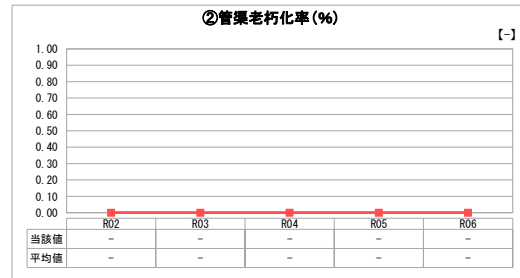
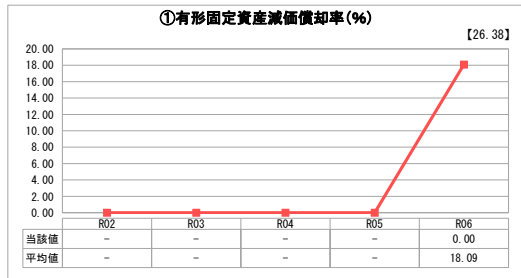
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,644	43.24	153.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4	0.04	100.00

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
[]	令和6年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

芝山町では、令和5年度から地方公営企業法の財務規定を適用している。
①経常収支比率は100%を超えている状態であるが、一般会計繰入金に依存している状況である。

②該当なし

③113%とやや平均を下回っているものの、事業を開始したばかりで留保資金が少ないことが原因となっているため、今後損益勘定留保資金等の確保により比率が上がる見込み。

④該当なし

⑤令和6年度中の使用料金が発生しておらず、経費回収率は、0%となっている。

⑥該当なし

⑦令和6年度中は汚水が発生していないため、利用率が0%となっている。

⑧水洗化率は100%となっており、今後も100%を維持できるよう、処理区域内の水洗化に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、令和6年度から事業を開始したため0%となっている。

②管渠老朽化率、③管渠改善率については、法定耐用年数を経過している管渠はなく、老朽化の進んだ管渠が少ないため0%となっているが、適切に点検・管理を行っていく。

全体総括

当町の共同浄化槽事業は、令和6年度に供用開始したばかりで、先行きが不透明なところがあるが、効率的・効果的な事業執行に努めるとともに、将来を見据えた持続可能な事業運営に努めたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。